

2011年11月6日

光が丘キッドサッカークラブ
代表 猪狩 一義 様
コーチの皆様、保護者の皆様

研究への協力のお願い

研究代表者 文教大学 小林勝法
共同研究者 東京大学 小泉秀樹
同 国際基督教大学 岡田光弘

現在、私たちは、2011年度 笹川スポーツ財団 スポーツ振興研究助成をえて、「市民としてのコミュニケーション能力をスポーツを通じて育成するための基礎的研究-チーム内コミュニケーション能力の育成によるスポーツ振興を目指して-」と題する研究を行っています。

<研究の目的>

本研究では、チーム内コミュニケーションに基盤をおいた育成年代の選手の創発性や自律的な判断の育成に焦点を当てています。サッカーでは、個々の選手の状況に応じた自律的判断と、それをチームメートに伝えることを通じて、グループ、チームとしての規律がダイナミックに変化することがあります。こうした過程を経験することは、サッカー以外の局面でも重要とされる「コミュニケーション能力」を獲得することにつながるのではないかと仮説をもって研究を進めています。

<研究の方法>

サッカーチームのミーティングやゲーム内のコーチと選手間のやり取りを題材とした研究です。ビデオ・エスノグラフィーという手法を用いて、試合前の注意、試合内のやり取り、ハーフタイムのコミュニケーション、試合終了後の反省会といった場면을総合的に撮影し分析します。

他に、FC東京ジュニアユース、國學院久我山高校、などに撮影をお願いし、年代による相違を比較する予定です。

つきましては、本研究へご協力いただき、試合前のミーティングやゲーム内のコーチと選手間のやり取りを撮影・録音させていただきたくお願い申し上げます。そして、実際に撮影の対象になった方と保護者の方には、同意書(別紙)をお渡しして、再度、ご協力の確認をすることになります。

録音・録画したものは、研究グループ内で分析、考察いたします。そして、研究発表の際には個人が特定されない形に加工して行います。個人情報保護には十分に留意し、厳重に管理いたします。私たちは、これまでに医学部・工学部での授業、法律相談、救急医療といった機密保持を必要とされる現場を対象としてきており、個人情報保護をはじめとする研究倫理を堅持して研究実績を上げてきています。そして、今回も同様の配慮を行います。

是非、サッカーのコミュニケーションを研究する意義をご理解いただき、ご協力くださいますよう、重ねてお願い申し上げます。

問い合わせ先:国際基督教大学教育研究所、準研究員 岡田光弘(okada@emca.net)